

令和2年度 第2回 松山市子ども・子育て会議
教育・保育部会 会議録

1. 日時

令和2年10月12日(月) 13:30~14:00

2. 場所

松山市青少年センター1階 大会議室

3. 当日の出席者等

(1) 出席委員 (10人)

上岡 周介、鵜久森 克、香川 実恵子、加納 飛鳥、住田 信幸、乗松 紀美子、濱田 由紀、三浦 和尚、村上 出、森 公夫 (五十音順、敬称略)

(2) 事務局

保育・幼稚園課

4. 傍聴の可否

可 (傍聴者0人)

5. 会議次第

(1) 開会

(2) 議事

①本日の審議事項について

②新たに認可・認定を受けて令和3年4月から事業を開始する予定施設等の利用定員について

(3) その他

①連絡事項等

(4) 閉会

6. 配布資料

・部会次第

・松山市子ども・子育て会議 教育・保育部会 委員名簿

・【資料1】 本日の審議事項について

・【資料2】 新たに認可・認定を受けて令和3年4月から事業を開始する予定施設等の利用定員について

会議録

1. 開会

・事務局

ただ今から、令和2年度 第2回 松山市子ども・子育て会議 教育・保育部会を開会させていただきます。本日の部会につきましては、委員総数10名のうち、10名全員のご出席をいただいておりますので、松山市子ども・子育て会議条例第8条第4項の規定により準用する第6条第2項の規定により、本会議が成立しておりますことを、ご報告させていただきます。次に開会に先立ちまして保育・幼稚園課長の川崎よりご挨拶申し上げます。

～保育・幼稚園課長挨拶～

・事務局

それでは、松山市子ども・子育て会議条例第8条第4項の規定により準用する第6条第1項の規定により、これより先は、三浦部会長に進行をお願いいたします。

2. 議事

・三浦部会長

本日はお忙しいところお集まりいただきありがとうございます。本日第2回の教育・保育部会ということですので、よろしくお願いいたします。

それでは、まず本日の審議事項について事務局から説明をお願いします。

～事務局から資料1「本日の審議事項について」の説明～

・三浦部会長

来年度4月からの利用定員について「入園のしおり」で提示するために、本日はその仮決定です。では詳しい内容について、事務局から説明をお願いします。

～事務局から資料2「新たに認可を受けて令和3年4月から事業を開始する予定施設等の利用定員について」の説明～

・三浦部会長

先ほども申し上げたように、今回は令和3年度の入園募集に際しての仮決定で、既存施設の利用定員を含め、来年1月の会議で様々な状況も踏まえたうえで最終決定となる予定です。この件について、ご意見ご質問等ありましたらお願いいたします。

～委員から意見なし～

・三浦部会長

確認ですが、待機児童ゼロに向けての受け皿整備は順調に進んでいるという理解でよろしかったでしょうか。

・保育・幼稚園課長

これまで子ども子育て支援事業計画に基づいて、認可保育所、あるいは小規模保育事業等の拡充に努めてまいりました。また、企業主導型保育事業にも空き定員がございます。そういった空き状況の周知にも努めながら、さらに保育の受け皿の拡充に努めてまいりたいと思います。

・三浦部会長

ありがとうございます。それでは、本日の審議事項については、原案どおり承認させていただきます。議事は以上でございますが、事務局から連絡事項等について説明をお願いします。

3. その他（連絡事項）

・事務局

～事務局から、連絡事項を説明～

・三浦部会長

待機児童ゼロに向けて着実に進むよう、よろしくお願い致します。

・森委員

会議の議題とは少し異なりますが、先般、園児がぶどうを喉に詰ませたというニュースがありました。その後、改めて給食についてガイドラインに基づいて運用するよう内閣府からも通達があり、トマトやぶどうの使用は厳禁というふうになっています。しかし、子どもの命を守ることが前提ではあるのですが、危険なものなどが全て除かれていくという保育は、リスクへの対処方法などの学習の機会を失い、知識を育てられなくなっているのではないかと感じます。そのことについて、現場の皆さまはどのようにお考えでしょうか。

・上岡委員

そのとおりだと思います。トマトは4分割すれば問題ありませんし、森委員が言われるように「除去する思想」というのは少し改めた方がいいように思います。

・森委員

公園の遊具なども何か事故などがあったら撤去されています。リスクを教えながら育てていくというのが私たち現場の仕事だと思うのですが、全て除去されてしまうと保育士にも教える機会がない、保育士も意識しない、となってしまう。ガイドラインは徹底しながらも現場サイドで考えていけるような幅を残しておいてほしいと思います。

・香川委員

喝水の際、保育所・幼稚園・小学校などで給食の汁物が一斉に中止になったことがありました。しかしながら、特に幼児については、喝水の時期だからこそ、水分補給がどんな形でも必要だと思います。いろいろなリスク管理の視点があると思いますが、危険を周知した上で現場サイドに保育の幅を持たせるようなことも必要かと思います。

・三浦部会長

「除去する思想」というのはまさにそのとおりで、現場で工夫しながら対処すべきこともあるかと思います。現場ではこのような問題意識があるということを事務局でもご承知おきください。

4. 閉会

・三浦部会長

それでは、以上をもちまして、「令和2年度第2回松山市子ども・子育て会議教育・保育部会」を閉会いたします。委員の皆様におかれましては、円滑な議事の進行にご協力を賜りまして、誠にありがとうございました。

(了)